

# 令和 3 年度事業報告

一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

# 事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

## 【概要】

世界的に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する中、日本では海外の出入国制限や国内における長距離移動の自粛要請、人との接触を極力避けるといった状況が続いている。国内では、昨年から延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルス感染症対策を施しながら無観客で開催された。しかしながら出入国制限が続き、訪日外国人の観光客数は戻らず、旅行会社が行うツアーも含め国内旅行の需要も戻らない状況により観光業界は大きな打撃を受けている。国は「Go to トラベル」の再開の検討や支援施策を展開し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を実施しながら「With コロナ」を踏まえた新たな生活様式が定着し始めた。

この様な状況を踏まえながら、一般財団法人矢掛町観光交流推進機構は当初計画していた事業内容の変更や中止をする一方、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける町内の飲食店や観光関係事業者等の支援事業を行った。

まると道の駅活性化事業では3月に開業した道の駅を活用し、商店街への誘客促進を行うソフト事業を実施した。商店街の飲食・物販店及び町内の飲食店の情報を掲載した既存冊子を改訂し、30,000部作成した。道の駅、やかげ町家交流館、矢掛ビジターセンター問屋等で配布し、商店街への誘客を図った。また、総合運動公園から商店街への誘客として矢掛本陣マラソン全国大会参加者へやかげ町家交流館や日曜朝市で使用できるクーポンの配布を企画した。本年度は会場が総合運動公園から旧矢掛商業高校へ変更となり、コロナ禍を踏まえ参加者も町内在住または在勤に限定されたが、配布の結果、会場から日曜朝市や町家交流館など商店街への誘客を行った。また、道の駅開業、重伝建選定、無電柱化を記念してイベントを企画実施した。重伝建選定エリア内での写真を対象としたフォトコンテストを実施し、審査員長を水戸岡鋭治氏にお願いし、62作品の応募の中から、グランプリ等の受賞作品25点を決定した。25作品は矢掛ビジターセンター問屋にて約1か月間展示会を行った。(一社)やかげまると商店街振興会と連携して「やかげまるとまちづくり会議」を実施した。岡山大学 岩淵准教授の基調講演及びパネルディスカッションを行った。また、「やかげパンマルシェ」を道の駅駅舎西側通りを会場とし、2月に開催した。出店店舗は備中管内の観光協会を通じて募集し、町内外から10店舗の参加があった。リピートキャンペーンとしてイベント翌日以降にお店でパンを購入するとスタンプがもらえ、賞品が当たる抽選に応募できるスタンプラリーを実施し、広域連携も行った。

町民や観光関係団体等と連携し矢掛商店街を中心に「やかげ華まつり」を実施した。同時開催の道の駅開業1周年記念イベントや道の駅マルシェとも連携し、効率的な情報発信とコロナ禍を踏まえ分散したイベント会場の配置を行いながら矢掛町への誘客を図った。

まると商店街賑わいづくり創出事業では大名行列体験事業として、本年度も中止となった矢掛の一大イベントである大名行列を情報発信するための動画作成を行い、矢掛ビジターセンター問屋等で放映し、プロモーションを行った。また、Maasの社会実装に向けた試験運行として、道の駅でレンタルできる電動バイクなどを活用し、商店街での移動手段や立ち寄りスポットなどの検証を行った。商店街周遊事業ではデジタルマップ「矢掛町ガイドマップ」を活用したスタンプラリーを実施した。岡山県のまん延防止重点措置期間と重なったが一定の

参加者と賞品抽選への応募があった。

特産品開発事業では大学の先生をアドバイザーとして招へいし、地域の関係者を集め、意見交換会を3回開催した。試作品として町オリジナルデザインマンホールのコルクコースターを作成した。

マーケティング事業ではやかげ町家交流館、水車の里フルーツトピア、道の駅山陽道やかげ宿の3施設で合計2,400件（各800件）の観光アンケートを実施し、データ収集及分析を行った。

観光資源魅力化事業では町内全域の観光素材の発掘、ブラッシュアップを行い新たな観光メニューの開発検討を行った。

観光情報発信事業では、当法人のホームページやSNS（Facebook, Instagram）を活用し情報発信を行った。本年度新たにTwitterによる情報発信を開始した。各種メディアを活用した情報発信では、AM・FMのそれぞれでラジオ放送を毎月行い、テレビでは2社を使って矢掛の町歩きをテーマに電動バイクや店舗の紹介を行った。また、新聞本紙への広告掲載により「やかげパンマルシェ」の情報発信を行い、近隣市町へチラシの新聞折込による「やかげ華まつり」の情報発信を行った。商店街へ新たに設置された街灯に掲出するのぼりを作成し、「やかげ華まつり」のPRを行った。観光パンフレット「やかげの葉」を増刷し、町内施設及び倉敷駅前観光案内所等の町外施設へも設置し、情報発信を行った。

誘客促進事業では農林水産省及び日本旅行業協会が2回実施した農泊商談会へ参加し、矢掛町のプロモーションを行った。大阪で開催予定のツーリズムEXPOがコロナ禍により開催中止となり、連携して出展を予定していた両備ホールディングスが作成する観光情報冊子「ワンダフルセトウチ」に矢掛町の情報を掲載し、情報発信を行った。

ホストタウン事業では本年度開催されたオリンピック・パラリンピックを踏まえ、元ヨーロッパクラブチーム選手のイタリア人コーチを招へいし、町内サッカースポーツ少年団とその保護者、矢掛中学校サッカー部の生徒を対象にサッカースクールを開催した。

視察受入事業では、アルベルゴ・ディフーズや古民家再生事業等の取組に対する視察受入対応を行い、6団体43名の対応を行った。

インバウンド推進事業ではコロナ禍により海外からの入国制限が引き続き行われたため、コロナ収束後を見据えて体験プランやプロモーションの検討を行った。また観光パンフレット「やかげの葉」の英語・中国語の2か国翻訳データを作成し、当財団の多言語ホームページへ掲載し、プロモーションを行った。

観光パンフレット作成事業では道の駅や矢掛ビジターセンター問屋等の新しい施設や新しいお店、重伝建に選定され、無電柱化された町並みなどを紹介する観光パンフレット「やかげの葉」を新たに作成した。

観光案内事業では観光ガイド組織の運営を行い、ガイド予約等のオペレーションを行った。また、新たなガイドの人材確保及び育成を行うため、ガイド活動の説明会を実施し、新たに10名がガイド組織に入会し、活動を始めた。

新型コロナ対策事業では、次の3事業を実施し、観光事業者等の支援を行った。マイクロツーリズム事業では町内施設等を組み込んだツアーを企画し、35件208名の参加があった。プレミアム付飲食券事業では7,500円分の券を5,000円で1,000セット販売し、利用店舗は36店舗の参加があった。飲食券の換金率は99.24%となり、飲食事業者の支援を行った。旅行

会社活用による誘客促進事業では旅行会社向けの補助金制度を整備し、旅行会社を介したツアーによる観光事業者、飲食事業者、交通事業者の支援を行った。

地方創生事業では協議会を設立し、協議会の事務局運営を行った。また、観光実態把握のための調査を実施し、観光ビジョン（案）を作成し、町へ提出した。近隣プロモーションとしてイベント「やかげ？石彫？なんそれ！展」を実施し、作品を周遊するスタンプラリーは抽選に1,042件の応募があった。インバウンド向けプロモーションとして、イタリアのホストタウンに選定されたことも踏まえ、イタリア向けにWEB記事掲載による情報発信を行った。

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理では施設を適正に管理し、令和3年度の来館者数は約29,000人だった。

広域連携事業では、イベント「やかげパンマルシェ」への出店店舗募集のため、備中地域の観光協会を訪問し協力及び今後の連携依頼を行った。「やかげパンマルシェ」のイベント翌日から各店舗を回るスタンプラリーを実施し、広域連携を行った。

日本版DMO登録事業では観光庁へ「登録DMO」の申請を行い、令和4年3月28日付で一般財団法人矢掛町観光交流推進機構が「候補DMO」から「登録DMO」へ登録された。

【重点業績評価指標（K P I）】※速報値

K P I		2018年度 基準値	2019年度 実績	2020年度 実績
延べ宿泊者数（人）		6,629	6,869	6,184
観光入込客数（人）		296,656	334,498	275,645
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,356	2,157	2,436
	宿泊 観光客	17,922	19,794	20,273
リピーター率（％）		56.95	64.70	70.95
観光客満足度（％）		77.25	84.00	86.16
WEBサイト アクセス件数（件）		161,138	167,292	150,332

K P I		2021年度 目標	2021年度 実績	備考
延べ宿泊者数（人）		6,374	5,982	
観光入込客数（人）		330,457	524,024	
観光消費額（円）	日帰 観光客	2,725	2,366	
	宿泊 観光客	20,745	18,951	
リピーター率（％）		63.42	68.67	
観光客満足度（％）		89.41	86.63	
WEBサイト アクセス件数（件）		186,535	160,029	

※延べ宿泊者数=矢掛屋+備中屋長衛門+蔵 INN 家紋+蔵 INN-KURABI-

※観光入込客数=岡山県報告数値（暦年）

※観光消費額=アンケート調査から算出した額

※リピーター率=アンケート調査から算出した数値

※観光客満足度=アンケート調査から算出した数値

※WEBサイトアクセス件数=矢掛町観光ホームページアクセス件数

## 1. まるごと道の駅活性化事業

2021年3月に完成した道の駅を活用し、駅舎を玄関口に商店街への誘客を行うソフト事業の展開を行った。また、商店街以外への誘客の起点となるような町内の観光スポットや特産品などの情報発信を行った。

### (1) 商店街誘客促進

道の駅から商店街への誘客を図るため、商店街の飲食・物販店の情報を掲載した既存の冊子を改訂し、30,000部作成した。配布場所は矢掛まるごと道の駅の玄関口である道の駅駅舎、観光案内所である矢掛ビジターセンター問屋、交流施設兼物販・飲食施設でもあるやかげ町家交流館で観光客へ配布を行い、商店街のお店への誘客促進を行った。

#### ・冊子「矢掛町歩きガイド」



### (2) 運動公園周遊促進

年間10万人以上が訪れる総合運動公園から道の駅、商店街への誘客を行うため、総合運動公園が会場となる「矢掛本陣マラソン全国大会」に参加する選手へ、やかげ町家交流館や日曜朝市で使用できるクーポン券の配布を企画した。今年度はコロナ禍により、参加者が町内在住または在勤の方限定となり、会場も旧矢掛商業高校跡地に変更となった。選手へクーポンを配布したところ、日曜朝市会場や商店街へ誘客することができた。クーポンは461枚発行し、340枚の使用があり、使用率は73.75%だった。

#### ・配布したクーポン券



#### ・日曜朝市を楽しむマラソン大会参加者



### (3) 道の駅、重伝建、無電柱化記念イベント

道の駅オープン、重伝建選定、無電柱化の完成を記念して、次のとおりイベントを企画実施し、集客を行った。

#### ①町並みフォトコンテスト

道の駅開業及び重伝建選定を記念し、無電柱化により生まれ変わった町並みを対象としたフォトコンテストを実施した。作品の撮影対象エリアは重伝建選定エリアとし、コンテスト審査員長は道の駅駅舎のデザインを監修した水戸岡鋭治氏が行った。全62作品応募があり、グランプリ1点、優秀賞3点、入賞20点、特別賞1点を選出した。受賞作品25点は令和3年8月25日から9月30日まで矢掛ビジターセンター間屋で展示を行った。

#### ・チラシ



#### ・表彰式



#### ・作品展示会



#### ②やかげまるごと町づくり会議【令和4年2月27日実施】

(一社)やかげまるごと商店街振興会と連携し、道の駅開業記念イベントとして実施した。約10年前から矢掛町に学生と一緒にフィールドワークの場として関わってこられた岡山大学 岩淵准教授による基調講演を行った。岩淵准教授が司会進行し、山野矢掛町長、佐伯代表理事(やかげまるごと商店街振興会)、松村氏(石挽カカオ ISSAI 店長兼芸術家)、矢掛高校生が参加し、これまでの観光まちづくりへの意見交換を行った。

・チラシ

・基調講演



・意見交換



③やかげパンマルシェ【令和4年2月27日実施】

最近注目を集める「パン」テーマに、道の駅駅舎から商店街への通りを活用したマルシェを開催した。町内のパン屋及び近隣市町の観光協会と連携し、町外からも出店店舗を集め、合計10店舗の出店申込があった。出店店舗は町内から2店舗、町外からは総社市、倉敷市、浅口市、里庄町、笠岡市、井原市から8店舗、合計10店舗の出店があった。【※コロナ禍により町内1店舗、町外1店舗は当日出店キャンセルとなった。】リピートキャンペーンとしてイベント後に各店舗へ行く仕組みとしてスタンプラリーを実施した。

・チラシ

・イベント会場





#### (4) やかげ華まつりの実施

町民、観光関係団体等と連携し、やかげ商店街を中心とした、「やかげ華まつり」を令和4年3月27日に実施した。道の駅の駅舎では道の駅開業1周年記念イベントを行い、駅舎から商店街へ通りでは矢掛町ブランドや特産品をテーマに「道の駅マルシェ」を開催した。やかげ町家交流館周辺では毎月第2日曜日開催の日曜朝市を特別開催し、西町会場ではステージイベントや飲食物販、情報発信ブースなどの出店があり、西町広場観光客を誘引することができた。また、商店街に12か所、華道や有志団体による花のオブジェ展示を行い、展示場所12か所を巡り、花柄スタンプを集めて参加できるガラポン抽選会を実施した。来場者数は約13,000人となった。

##### ・チラシ



##### ・花のオブジェ展示



##### ・やかげ小唄踊り



##### ・スタンプラリー抽選会場



#### (5) 山陽道やかげ宿の市事業

道の駅は、商店街の東側に位置するが、西側に何も拠点がなことから、道の駅から商店街の西側に観光客を誘導するため、マルシェ等のイベント開催のため道の駅既存のマルシェテナントと同じテナントを10張導入した。令和4年2月27日に「やかげパンマルシェ」を記念イベントと連動して実施した。

## 2. まるごと商店街賑わいづくり創出事業

### (1) 大名行列体験事業

本年度は大名行列の開催が中止となったため、大名行列のプロモーション動画を作成し、矢掛ビジターセンター問屋等で放映し、観光客へ次回開催時に来町いただくためのプロモーションを行った。

#### ・撮影風景



#### ・完成動画



### (2) Ma a Sの社会実装に向けた試験運行

環境的にも観光的にも優れた電動バイクなどを活用し、やかげまるごと道の駅(商店街)での移動手段や立ち寄りスポットなどの調査を行った。今後、今回の検証データを基に商店街の周遊促進を行う。



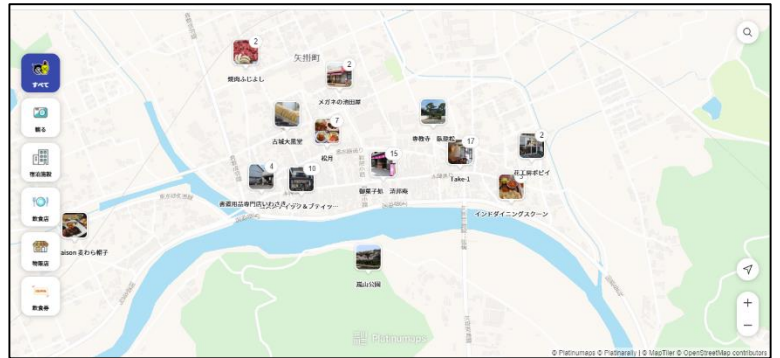
### (3) 商店街周遊事業

矢掛町の観光スポットや飲食店・物販店の情報を掲載したデジタルマップ「矢掛町ガイドマップ」を活用し、令和4年1月27日から2月28日まで期間でデジタルスタンプラリーを実施した。岡山県へ発令されたまん延防止等重点措置期間と重なったが、スタンプラリーへ211件の参加があり、84件の抽選への応募があった。

#### ・チラシ



#### ・デジタルマップ「矢掛町ガイドマップ」



### 3. 古民家再生した矢掛ビジターセンター問屋における販わい創出事業

#### (1) 特産品の開発

大学の先生をアドバイザーとして招聘し、地域の産物を活用し、既存の観光ブランドについてブラッシュアップするとともに「まるごと道の駅」の新観光ブランドとなる特産品を開発するため、地域の関係者を集めた情報交換及び開発協議の会議を全3回実施した。本年度は試作品としてマンホールカードとして配布もしている矢掛町オリジナルデザインマンホールを使ったコースターを作成した。



#### (2) マーケティング事業

観光アンケート等による当法人が推進する事業全体に関わる必要な基礎情報の収集、重点業績評価指標（KPI）の検証を行った。

##### (i) 観光アンケートの実施及び分析

矢掛町を訪れる観光客及び観光事業者等に継続してアンケート調査を行い、観光ニーズを分析するため、水車の里、やかげ町家交流館、道の駅にて各800件（合計2,400件）アンケートを実施し、アンケート回答者への割引補助を実施した。収集したアンケートは集計し、前年度との比較など分析を行った。

### (3) 観光コンテンツ拡充・情報発信・誘客促進事業

本町の観光資源の発掘・ブラッシュアップを行った。SNSやメディア等を活用し効率的な情報発信を行い、誘客を図った。観光商談会や観光PRイベントなどで観光プロモーションを実施し都市部からの集客を図った。また、アルベルゴ・ディフーズ、まるごと道の駅、重伝建選定による観光の取組への視察受け入れを行った。

#### (i) 観光資源魅力化事業

町内全域を観光資源（観光対象）にとらえ、モニターツアーの実施による観光素材の発掘、ブラッシュアップを行い多様化した観光メニュー等の開発検討を行った。

#### (ii) 観光情報発信事業

##### ・観光ホームページ・SNS・アプリ等による情報発信

ホームページ等を活用し、矢掛町における観光情報を発信した。また、プラチナマップや当法人SNS（Facebook、Instagram等）を活用し、情報発信を行った。本年度、情報発信媒体として新たにTwitterによるタイムリーな情報発信を開始した。



##### ・テレビ・ラジオ等による情報発信

観光情報等についてメディアを通じて発信を行った。実施内容は次のとおり。

会社名等	ジャンル	番組名称等	内容	放送時期等
RSKラジオ	AMラジオ	「あもーれ！マッタリーノ」	矢掛の旬な話題をお届け。	毎月1回(全12回) 第4木曜16時頃～
岡山シティエフエム(レディオモモ)	FMラジオ	「朝刊ラジオ 元気！おかやま」(おはよう矢掛通信)	矢掛の旬な話題をお届け。	毎月1回(全12回) 第2火曜8時頃～
RSKテレビ	テレビ	「天神サタデー」	電動バイク・話題の店舗紹介	令和4年3月12日
岡山放送(OHK)	テレビ	「ど昼はドドっと！！」	矢掛の町歩き・話題の店舗紹介	令和4年3月12日
山陽新聞社	新聞折込	折込エリア：矢掛町周辺市町(30,000部)	やかげ華まつり情報発信	令和4年3月25日
山陽新聞社	新聞広告	山陽新聞広告さりお広告	パンマルシェ情報発信	
あさひ印刷所	タペストリー	商店街街灯掲出用タペストリー(2種)	やかげ華まつり・大名行列	
ビザビ	パンフレット増刷	「やかげの葉」40,000部	矢掛町観光パンフレット	

・岡山放送(OHK)「ど昼はドドっと！！」

・RSK「天神サタデー」



### (iii) 誘客促進事業

#### ・旅行企画・誘致

観光商談会や観光PRイベントへ参加し、観光プロモーションを行った。新型コロナウイルス対策事業と連動して、ツアー促進のため旅行会社への補助を行い、矢掛町への誘客を行った。

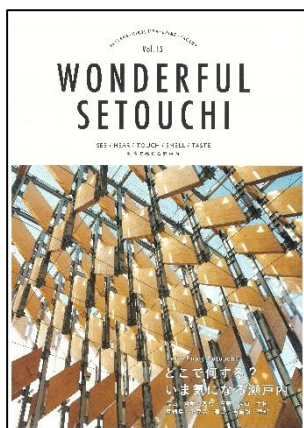
#### ・商談会、観光展によるプロモーション

農林水産省及び日本旅行業協会が実施する農泊商談会(オンライン)に参加し、農泊及び矢掛町のプロモーションを行った。

【7月：7社，2月4社 合計：11社】

・ ツーリズム EXPO（大阪）出展によるプロモーション

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により本年度大阪府で開催される予定の世界最大規模の旅行博と言われるツーリズム EXPO は開催中止となった。やかげDMOは両備ホールディングスと連携し、出展予定であり、両備ホールディングスのブース出展自治体等の観光情報を掲載した冊子「ワンダフルセトウチ」に矢掛町の情報を掲載し、プロモーションを行った。



(4) ホストタウン事業【受託事業】

本年度開催される東京オリンピック・パラリンピックを踏まえ、イタリアのホストタウンとして登録された矢掛町へイタリアとの国際交流やスポーツ交流を実施した。AC ミランアカデミーと連携して、元ヨーロッパクラブチーム選手を講師として招へいし、令和3年11月13日、14日の2日間でサッカースクールを開催した。町内のサッカースポーツ少年団及び矢掛中学校サッカー部の生徒を対象に参加者を募集した。子どもたちと併せて保護者やコーチへのアドバイスや指導も行った。



(5) 視察受入事業

アルベルゴディフーズや古民家再生事業にまるごと道の駅や重伝建選定による観光の取組への視察受入対応を行った。有償で受入を行った団体は次のとおり。また、大学の卒業論文等の研究調査の対応も随時行った。

年月日	団体名	人数
令和3年6月11日	津山街デザイン研究所	4名
令和3年10月7日	三重県東員町	5名
令和3年10月31日	新見おかみさん会	8名
令和3年12月18日	北海道羅臼町	16名
令和3年12月23日	岡山県美作市	9名
令和4年3月26日	(一社) LOCALFOOD	1名
合計	6団体	43名

・美作市 視察対応



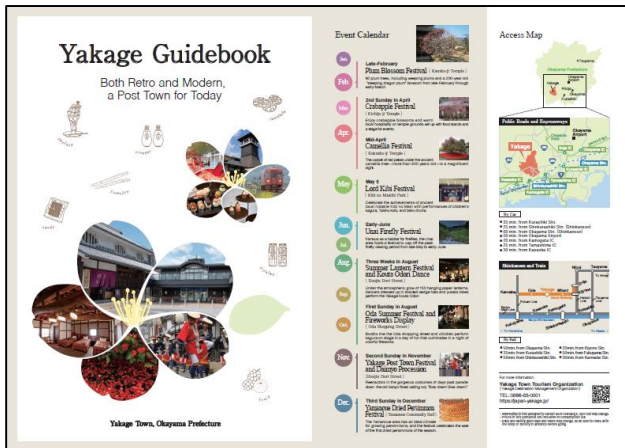
#### 4. 矢掛町ランドオペレーター事業

矢掛町への観光を希望するお客様や旅行会社へ滞在プランの提案や相談に対応を行った。インバウンドはコロナ禍において本年度は海外から観光客の入国ができなかったため、インバウンド向けのオーダーメイド型滞在プランの検討や、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、インバウンドツアーの企画、外国人受け入れ体制整備等観光プロモーション活動の実施検討を行った。国内旅行社向けには観光ガイドの予約等のオペレーションを行った。

##### (1) インバウンド推進事業

###### (i) インバウンドツアーの企画・実施

コロナ禍において本年度は海外から観光客の入国ができなかったため、インバウンド向けのオーダーメイド型滞在プランの検討や、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、インバウンドツアーの企画、外国人受け入れ体制整備等観光プロモーション活動の実施検討を行った。また、作成した「やかげの葉」を中国語・英語の2か国語に翻訳したデータを作成し、やかげDMOのホームページ（多言語対応）に掲載し、インバウンド向け情報発信を行った。



(2) 観光パンフレット作成事業

矢掛町を訪れた観光客に矢掛の楽しみ方、矢掛の観光の歩き方を伝えるため、道の駅や観光施設、体験コンテンツ等を掲載した観光パンフレット「やかげの葉」を10,000部作成し、配布を行った。



(3) 観光案内事業【受託事業】

(i) 観光ボランティアの運営

観光ガイド等の観光ボランティアの効率化を図るために人材確保・育成等及びガイドの予約等のオペレーションを行った。日祝日はビジターセンターで観光案内を実施し、定時観光ガイドツアーの実施を行った。

(ii) 町並み観光ガイド育成

観光ガイドの人材確保及び育成を行うため、矢掛町観光ボランティアの会と連携し、観光ガイドの活動内容説明会を企画し、2回実施した。説明会実施は町内向けに1月の町広報紙と一緒に各戸へ配布するとともに、近隣市町向けにチラシを新聞折込し、説明会参加募集を行った。説明会后、10名が新たにガイド会へ入会し、活動を始めた。

1回目 令和4年2月6日(日) 参加者:5名

2回目 令和4年2月13日(日) 参加者:6名



・チラシ



・説明会実施風景 (2/6)



5. 新型コロナウイルス対策事業

コロナ禍における観光関連事業者等への支援事業を行う。

(1) マイクロツーリズム実施事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている観光事業者を支援するとともに、町内の観光施設や体験コンテンツなどを組み込んだツアーを企画実施し、お客様に格安で利用していただき、矢掛町の魅力を再発見してもらった。

- ・ 申込件数 35件 208名
- ・ コース別
  - 夏の自然満喫コース① (キャンプ) 1件
  - 夏の自然満喫コース② (ブドウ狩り) 3件
  - 天文コース 13件
  - 歴史コース 2件
  - 多肉植物寄せ植え・BBQ コース 6件
  - 芋ほり・ピザづくりコース 0件 (期間：10/1-31)
  - ピーナッツ掘り・ピザづくりコース 7件 (期間：11/1-30)
  - 餅つきコース 2件 (期間：12/1-31)
  - 日帰りコース 1件 (矢掛中学校 90名)

・ 事業実施の情報発信

やかげ DMO の HP, SNS 等で情報発信し、町広報紙へも情報掲載した。また、山陽新聞への広告掲載や、「さりお」への広告掲載による情報発信をおこなった。

(2) 町内飲食店応援プレミアム付飲食券発行事業

飲食店のみ使用可能なプレミアム付飲食券を発行し、消費喚起を行い、飲食店の支援を行った。500円券を15,000枚発行し、プレミアム率は50%とし15枚1セット(7,500円分)を5,000円で1,000セット販売した。36店舗の参加があり、飲食券換金額は7,443,000円(換金率：99.24%)となった。

・ 飲食券



・ 店舗掲出ポスター



(3) 旅行会社活用による誘客促進事業

旅行会社向け補助金事業の交付単価拡充を行い、旅行会社を介した矢掛町への送客による観光事業者の支援を行った。

- ・ 申請件数：141 件（内 10 件は催行中止等により交付中止届出があった。）
- ・ 交付件数：131 件
- ・ 補助金交付額 10,551,895 円

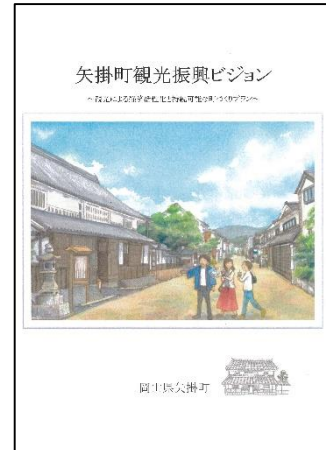
6. 地方創生事業【受託事業】

矢掛町の現在の発展を調査・分析した結果を踏まえた観光事業計画策定のため、事業推進を行う協議会の事務局運営、観光の実態把握調査を行い、観光ビジョン（案）作成し、町へ提出した。また、近隣へのプロモーションとして町内関係者と連携してイベント「やかげ？石彫？なんそれ！展」を実施し、新聞広告等を活用したイベント告知と併せて矢掛町のプロモーションを行った。商店街に設置した石彫作品を巡るスタンプラリーも併せて実施し、周遊促進を行った。スタンプラリー抽選には 1,042 件の応募があった。インバウンド向けプロモーションではイタリアンのホストタウンに矢掛町が選定され、イタリア発祥のアルベルゴディフーズタウンでもあることからイタリア向けにWEB記事掲載による情報発信を行った。

・協議会開催



・観光ビジョン



・チラシ



・スタンプラリー台紙



・イベント写真



・取材 (インバウンドプロモーション)



・掲載記事



7. 矢掛ビジターセンター管理・活用【指定管理受託】

矢掛ビジターセンター問屋の指定管理を受託し、施設の維持管理を行うと共に道の駅と連携した情報発信や観光客を商店街への誘客を行った。

## 8. その他事業

上記事業全体を推進する中で近隣市町と連携した相互送客や長期滞在を図る。また登録DMOの候補法人から本法人への登録を行った。

### (1) 広域連携事業

#### (i) 広域観光連携

「やかげパンマルシェ」を実施するため近隣市町（倉敷市、井原市、笠岡市、浅口市、里庄町、高梁市等）の観光協会を訪問し、イベント出店店舗の紹介及び今後やかげDMOとの連携を依頼した。本年度は「やかげパンマルシェ」に出店申し込みのあった町内外の10店舗でイベント後のお客様リピートキャンペーンとしてスタンプラリーを実施した。

### (2) 日本版DMO登録事業

#### (i) DMO登録事業

観光庁が推進する日本版DMOへの登録申請を行い、令和4年3月28日付で「登録DMO」に登録された。



#### (ii) 旅行事業

旅行業登録（地域限定）により、域内におけるマイクロツーリズムや着地型旅行商品の造成、実施・検討を行った。